

# コミュニケーションブースの概要

2024年7月25日

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社

柏崎刈羽原子力発電所

# コミュニケーションブースの概要

- 2015年から新潟県内において、県民の皆さまが立ち寄りやすい商業施設のイベントスペースなどをお借りし、コミュニケーションブースを開催
- コミュニケーションブースでは、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の状況や日本のエネルギー事情などについて、対面による広聴・広報活動を実施
- ブースでいただいたご意見は発電所にフィードバックし、信頼される発電所運営に努める



パネルによる日本のエネルギー事情等のご説明



資料による発電所の取組のご説明



傾聴ブースでのご説明



VRを活用した安全対策のご説明

# これまでのコミュニケーションブースの実績

## <これまでの開催実績（2024.7.25現在）>

- 開催開始日 : 2015年10月20日～
- 開催回数 : 142回
- 開催対象 : 新潟県内すべての自治体  
(30市町村、隣接市町村との共催含む)
- 開催日数 : 412日
- 来場者数 : 29,960名

※2023年度実績 : 18回開催、4,889名来場

## <コミュニケーションブースでいただいたご意見の例>

- ✓ 福島第一原発事故以降の新たな安全対策の説明を受け、安心感が増した
- ✓ 火力発電の割合を減らすために原子力は必要だと思う
- ✓ 日本のエネルギー事情が厳しいことはよくわかったが、再稼働するには発電所のトラブルを少なくしてほしい。トラブルが続くと住民としては不安
- ✓ 東電が信用しきれず、リスクのある原子力は賛成できない
- ✓ 電気は大切なものなので、安全・安心に使えるようにしてほしい

# 4月以降のコミュニケーションブースについて

- 4月以降、UPZ圏内の自治体を中心に新潟県内でのコミュニケーションブースの開催頻度を増やし、県民の皆さまのご不安や疑問に感じていることを傾聴し、発電所の取組を説明する理解活動を強化
- 2024年度上期中には、UPZ・PAZ圏内すべての市町村を対象に実施予定

## <4月以降のコミュニケーションブース実績>

開催日程	開催地	来場者数
4/13,14	小千谷市	275名
4/20,21	十日町市	150名
4/20,21	燕市	159名
4/27,28	新潟市	350名
5/18,19	魚沼市	126名
5/25,26	見附市	224名
6/15,16	燕市/三条市	425名
6/29,30	新発田市/聖籠町	164名
7/20,21	田上町	376名
7/20,21	柏崎市/刈羽村	433名

## 2024年4月以降の実績

- 開催回数：10回
- 来場者：2,682名

## <今後のブース開催予定>

- ・7/27 : 刈羽村
- ・7/27,28 : 小千谷市
- ・8/3,4 : 新潟市
- ・8/15 : 出雲崎町
- ・8/15 : 刈羽村
- ・8/17,18 : 長岡市
- ・8/24,25 : 上越市

## (参考) 田上町コミュニケーションブース 実施報告

日時	7月20日(土)・21日(日) 9:30~16:00
会場	道の駅たがみ
来場者	376名(2日間合計)



### 【いただいたご意見(抜粋)】

- 様々な安全対策をしていることがわかった。
- 火力発電の割合を減らすために原子力は必要だと思う。
- 電力事情をあまり知らなかったので、話を聞いて良かった。
- コミュニケーションブースの取組はとても良い。
- 使用済核燃料の処分が心配。
- 県民として、事故が起きた時の事を考えると心配。
- 同じようなトラブルが多すぎる。

## (参考) 柏崎刈羽地域コミュニケーションブース 実施報告

日時	7月20日(土)・21日(日) 9:00~16:30
会場	柏崎刈羽原子力発電所サービスホール ※同会場にて、サービスホール夏イベント開催
来場者	433名(2日間合計)



### 【いただいたご意見(抜粋)】

- 色々な対策が施されていて安心した。いつでも再稼働したら良いと思う。
- 疑問に思っていた部分も含めて話を聞いて安心した。
- 津波・地震には不安を感じざるを得ないが、頑張って対策されていることが分かった。積み重ねていてもらうしかないと思う。
- IDカードの問題が起こったことは知っていたが、その後の対策を知らなかった。しっかり対策が取られていることが知れて良かった。
- IDカードの問題もそうだが、なんで決められたことが守れないのか。人が多ければ多いほど大変だと思うが、きちんとやってほしい。
- 長岡に住んでいるが、事故があった際の避難が心配。